

環境科学院 地球圏科学専攻
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 令和4年2月3日(木)

●座長: **渡辺 力**(雪氷・寒冷圏科学コース教授)

- 9:30 - 9:50 **大塚 美侑**(雪氷・寒冷圏科学コース)
「アイスコアを用いた過去の北極大気中に含まれるエアロゾルの氷晶核能を復元する測定装置の開発」
- 9:50 - 10:10 **渡利 晃久**(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド南東ドームアイスコアから復元するエアロゾルプロキシと北半球中高緯度の雲の関係」
- 10:10 - 10:30 **柳原 脩臣**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「観測システムシミュレーション実験による、台風内部コアの風速がデータ同化に与えるインパクトの研究」
- 10:30 - 10:50 **澤 貴仁**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「アラビア海西岸の沿岸湧昇域における海面水温の1年サイクル変動と年々変動に対する海洋波動の影響」

< 20 分 休 憩 >

●座長: **飯塚 芳徳**(雪氷・寒冷圏科学コース准教授)

- 11:10 - 11:30 **渡邊 翔**(生物地球化学コース)
「冬季と春季にオホーツク海南部で優占する珪藻類の現存量、組成、代謝活性およびそれらと環境要因との関係」
- 11:30 - 11:50 **川村 容明**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「寒気吹き出しに直交する走向を持つ日本海上の筋状降雪雲の研究」
- 11:50 - 12:10 **出口 洋海**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「太平洋・インド洋における気圧変動に含まれる外部変動の評価方法及び、経年スケール変動の長期変動解析への適用」

- 12:10 - 12:30 **岡崎 翌見(雪氷・寒冷圏科学コース)**
「ユーラシア永久凍土帯南限域における湧水動態
-現地調査と機械学習による湧水枯渇の広域解析-

< お 昼 休 み 12:30 - 13:30 >

●座長:江淵 直人(大気海洋物理学・気候力学コース教授)

- 13:30 - 13:50 **崔 羽皓(生物地球化学コース)**
「Origin of secondary fatty alcohols in atmospheric aerosols in a cool-temperate forest based on their mass size distributions」
(冷温帯林における大気エアロゾル質量粒径分布に基づく第二級脂肪族アルコールの起源)

- 13:50 - 14:10 **神田 晴哉(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「過去 60 年間の日本海側における積雪の経年変動の研究」

- 14:10 - 14:30 **内田 弘信(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「晴天乱気流による航空事故の際の気象場の解析」

< 20 分 休 憩 >

●座長:富田 裕之(大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

- 14:50 - 15:10 **武田 歩夏(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「極低気圧の将来変化について」
- 15:10 - 15:30 **小松 瑞紀(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「春季データから見積られる、南大洋における海氷融解量の分布とその変動」
- 15:30 - 15:50 **阿部 蒼士(生物地球化学コース)**
「河川における溶存有機物の光分解に伴う炭素安定同位体比の変化」

【第2日目】 令和4年2月4日(金)

●座長:川島 正行(大気海洋物理学・気候力学コース助教)

9:30 - 9:50 平田 駿樹(大気海洋物理学・気候力学コース)

「何が棚氷の形を決めるのか? ~ 超高解像度海洋モデルを用いて~」

9:50 - 10:10 鄭 心源(生物地球化学コース)

「Dynamics of dissolved methane and its biogeochemical controlling factors in the Arctic Ocean」

(北極海における溶存メタンの動態とその生物地球化学的制御因子)

10:10 - 10:30 齋藤 舜(雪氷・寒冷圏科学コース)

「北海道における日最低気温の地域特性と環境場の関係」

10:30 - 10:50 白井 美彰(大気海洋物理学・気候力学コース)

「水蒸気起源に着目した北東アジアの夏季降水量変動に関する研究」

< 20分休憩 >

●座長:亀山 宗彦(生物地球化学コース准教授)

11:10 - 11:30 八幡 大陸(大気海洋物理学・気候力学コース)

「台風によってもたらされる晩秋の降雪に対する海面水温の影響」

11:30 - 11:50 丹羽 修二(大気海洋物理学・気候力学コース)

「海洋成層状態に見られる長期変動と地球温暖化による影響」

11:50 - 12:10 成田 健志(大気海洋物理学・気候力学コース)

「南極海エンダービー海盆から沿岸域への表層熱輸送過程」

12:10 - 12:30 石川 修平(雪氷・寒冷圏科学コース)

「Lagrange型数値モデルによる地吹雪現象の解析」

< お昼休み 12:30 - 13:30 >

●座長:山本 正伸(生物地球化学コース教授)

13:30 - 13:50 山下 裕大(大気海洋物理学・気候力学コース)
「室内実験による海氷 granular ice の特性に関する研究」

13:50 - 14:10 辛 鵬(雪氷・寒冷圏科学コース)
「Estimation of freshwater discharge from the Gulf of Alaska drainage basins」
(アラスカ湾沿岸流域からの淡水流出量の評価)

14:10 - 14:30 加藤 陸(大気海洋物理学・気候力学コース)
「森林キャノピー内における圧力変動と乱流速度場の関係」

< 20 分 休 憩 >

●座長:滝沢 侑子(生物地球化学コース助教)

14:50 - 15:10 臼井 知輝(大気海洋物理学・気候力学コース)
「NPZD-Fe 鉛直一次元モデルを用いた南部オホーツク海の生態系の再現および応答」

15:10 - 15:30 大嶋 護(大気海洋物理学・気候力学コース)
「超音波流速計 ADCP による海中浮遊物の識別手法開発とその応用」

15:30 - 15:50 石坂 洸太(生物地球化学コース)
「沿岸域における燃焼起源溶存有機物の挙動に関する研究」

●令和3年9月修了生

- ・令和3年7月27日(火) 9:30~9:50
- ・場 所: 環境科学院 大講義室 D201
- ・座長: 山本 正伸 (生物地球化学コース教授)

9:30 - 9:50 王 常青(生物地球化学コース)

「Development of long-term preservation and measurement method for atmospheric and marine sulfur gases by curie point injector」

(海水中の揮発性有機硫黄化合物の長期保存法開発)